



Sailing Ahead

2025 年 6 月号

親愛なる PIANC の会員の皆様

ついに夏到来！（北半球での話ですが）皆さんが休暇を取って、親しい方々と海岸，川など様々な水辺で，楽しいひと時が過ごせますように。ゆっくりとリラックスして過ごすのに最適な時を秋のイベントに備えておくつろぎください。

PIANC では，すでに早めのスタートとして，2025 年 8 月 18-21 日にオーストラリア・阿德レードで「オーストラレーシアの沿岸域・港湾 2025(Australasian Coasts & Ports 2025)」会合がまず開催，その後 9 月第 2 週に米国・メンフィスで「PIANC スマートリバーズ(PIANC-Smart Rivers)」が開かれます。10 月の終わりには，モロッコ・タンジェールの「地中海ディズ(PIANC Mediterranean Days)」にて，地中海地域の PIANC 会員が集合します。

夏を家で過ごす人，私もその一人ですが，いくつか読めていないレポートに手を付けるのに良い機会です。個人的には，間もなく出版される「水路の閘門設計(Design of Navigation Locks)」が楽しみで，本棚にその本のスペースを確保するつもりです。何よりも，PIANC スタッフ一同を代表して一言，素晴らしい夏を，そして素晴らしい休暇を！

ヘルト・ファン・カッペレン [GEERTVANCAPPELEN](#)

PIANC 事務局事務総長

PIANC デ・パエペ・ウィレムス賞(DE PAEPE-WILLEMS AWARD) 2026 論文募集中

本年の申し込みの時期が再到来！ 40 歳以下の若手技術者(YP)ですか？

とりあえず、**PIANC デ・パエペ・ウィレムス賞(DE PAEPE - WILLEMS AWARD) 2026**に申し込み、
€ 4,000, € 2,000 又は € 1,000 を獲得しましょう！

なぜ参加するのか？！ こちらをお読み下さい **受賞者の声！**

アブストラクトの提出締め切り：2025 年 8 月 31 日
フルペーパー提出は遅くとも 2025 年 9 月 30 日です

このお知らせを周りの若手技術者 (YP) にも伝えてください！

詳細な情報と応募登録 (Web) はこちら！

以下の PIANC の今後のイベントにご参加ください！

2025 年 10 月
29 日 - 30 日

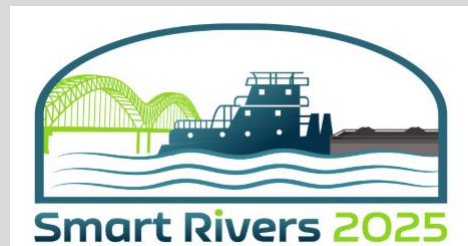
PIANC 地中海デイズ,
モロッコ・タンジール
(PIANC MEDITERRANEAN
DAYS 2025 Tangier, Morocco)



本イベントの Web サイト！

2025 年 9 月
8 日 - 12 日

PIANC スマート・リバー
2025, 米国・メンフィス
(PIANC-SMART RIVERS 2025,
Memphis, Tennessee)



本イベントの Web サイト！

講演者(基調講演, 全体会合)一覧は
こちら [HERE!](#)

ホテルの予約をお忘れなく！ [book your
hotel room!](#)

2026 年 5 月 10 日－12 日 PIANC「北海」会議(英国・ハル)(PIANC NORTH SEA CONFERENCE)

本会合は PIANC 年次総会(AGA)2026(於 ハル)の前に開催されます。

Web サイトは近日公開予定。
参加登録は 2026 年 1 月開始。

今後の情報をお待ちください。あるいは主催者までお問い合わせください。

pianc@ice.org.uk

2027 年 2 月 22 日－26 日 第 11 回 COPEDEC 2027
インド・チェンナイ
(PIANC-COPEDEC XI 2027,
Chennai, India)



第 1 回お知らせをダウンロードしてください [こちら](#)

PIANC 各委員会(Com)からのニュース

内陸水路委員会(InCom)からのニュース

WG 257(内陸水路及びインフラの運営・管理のためのデジタルツイン)のキックオフ会合

熱意溢れるデジタルツインの専門家グループが PIANC WG257 デジタルツインの初回会議に集合しました。WG 会議ではミッションを明らかにし、TOR と主要な役割分担について議論しました。WG メンバーは AI の統合、データシステム、ライフサイクル評価、そしてデジタル化に係る WG 264(内陸水路の水工構造物の運営のための革新的なデジタル化)との調整(相互運用性や標準化など)を含んだ初稿の構成まで議論を展開しました。次の作業は分担済みです。次回のバーチャル会議は 2025 年 9 月 19 日です。

フェドール・バート [Fedor Baart](#) InCom WG257 議長



海港委員会(MarCom)からのニュース

海港委員会 WG 23I(係船柱とフック)サウサンプトン港訪問



WG23I(係船柱とフック)メンバーは、6月にABP (Associated British Ports)の一員であるサウサンプトン港の温かい歓迎を受けました。今回の会合は、WGの検討内容の詳細化が進む中でのワークショップや議論を行うため招集されたもので、13名が対面参加しました。

今回の参加者は、北米、欧州、オーストラリア、イギリスの委員であり、前回のロングビーチ会合から大きな進捗があり、数ヶ月後の初稿の完成に向けた詳細について徹底的な検討ができました。

サウサンプトン港湾当局からも何人かのエンジニアが、「(成果となる)ガイダンスの目的」「これまでにまとめたレポート」「今後の方向性」に関するWG側のプレゼンテーションに参加してくれました。お返しにホストのアンドリュー・ハラム氏から、港湾当局側の最近の実績や今後のプロジェクトの紹介がありました。アンドリュー氏と彼のチームは、港湾視察を手配してくれ、同港の歴史を感じさせる係船設備(幾つかのボラーは100年以上経ている)や、古い岸壁にて更新された新たな係船設備を見学しました。サウサンプトン港湾当局の関係者の皆さん、ありがとうございました！

次回のWG会合は10月にロッテルダムで開催します。

クリス・ボルトン **Chris Bolton**
MarCom WG 23I議長

環境委員会(EnvCom)からのニュース

WG256 ブルーカーボンについてのアンケートのお願い



PIANCでは、会員向けの「ブルーカーボン実践ガイド」を作成するために、WG256を立ち上げました。以下のアンケートは、成果となるガイド(ガイダンス)の(想定)読者や、読者のブルーカーボンについての知識レベル、これまでの経験などについて、WG側の理解を深めることに役立ちます。お忙しいところ、アンケートに回答いただけると幸いです。

すべての項目にお答えいただけると幸いです。専門家である必要はありません。

アンケート： <https://bit.ly/457oyPQ>.

ジャン・ブルック [Jan Brooke](#)

若手技術者委員会(YP-Com)からのニュース

現在募集中の空きポジション及び今後の募集予定(欠員見込み)

アメリカ地域担当の新任の副委員長(代理)に加えて、以下の2つの空きポジション募集予定をお知らせします。

- YP-Comでは、PIANCの各専門家グループ(WG)が進めている各WG内の作業とYPのつながりを強化するため、各技術委員会(Com)に1人ずつオブザーバーを任命しています。これらオブザーバーは、YPのWG参加を促進することと、技術的な議論プロセスの中でYPによる適切なリードを確保するという重要な役割を担っています。現在、内陸水路委員会(InCom)の新任オブザーバーを募集しています。
- 上記に加え、YP-Com事務局長のアンヤ・ブルーニング氏(Anja Brüning)の任期が2026年5月で終了します。円滑な交替と適切な引継ぎを確実にするために、意欲ある後任を捜しています。この役割に関心があり、その責務と関係する業務内容を知りたい方は、お気軽に直接アンヤに見通しや助言を求めてご連絡下さい。

PIANCの未来への貢献とYPの声を代表する役割に情熱をお持ちの方は、今が参画の絶好のチャンスです！

アンヤ・ブルーニング [Anja Brüning](#)

YP-Com事務局長

過去の PIANC YP イベント -COPRI(Coasts, Oceans, Ports & Rivers Institute, USACE)主催, PIANC 米国後援の Ports' 会合における YP の広範な参加-

PIANC後援, USACE(米国土木学会)COPRI(沿岸・海洋・港湾・河川研究所)主催の「PORTS」会議には, YP が様々な形で参加しました。会議開催に先立つプロビデンスの都心にあるウォーターフロント・インフラ視察へのYP参加の機会を得ました。会議キックオフ段階では, YPポスターセッションへの参加者受入れ, 新興の若手技術者の取り組みを紹介しました。

もっと読む [Read more...](#)

ビンセント・ベッソン **Vincent Besson**

YP-Comアメリカ地域副委員長

Nieuwpoort(ニウポール)高潮防潮堤の視察 YP ベルギー

遂に達成! 先般の隔年の技術ビジット(BTV)において宣伝していたとおり, ベルギーYPは, Nieuwpoortの高潮防潮堤を実際に視察することができました。正確には, その建設現場ですが, 最初に2018年着手の建設工事について, 35人以上参加したYPが説明を受けました: 止水壁(Cofferdam), 水中堰(Submerged sill), 鋼性壁の準備工などです。写真で見ると小さめに感じますが, 参加者はみな, 建設の全体規模に感銘を受けました。

もっと読む [Read more...](#)

フィリップ・ヴァン・デ・ウィレ **Filip Van de Wiele**

YP-Comベルギー委員

PIANC YP スペイン部会が第 21 回若手技術者会議を開催(セウタ)

PIANC YPスペイン部会は, 最近セウタで第21回若手技術者会議を開催しました。2日間の技術イベントに海事, 港湾業界から60人近くの参加者がありました。

もっと読む [Read more...](#)

アルゼンチン, ブラジル, チリ, ウルグアイの YP が南米ウェビナーを開催

2025年6月18日, PIANCアルゼンチンYPとPIANCブラジルYP, AChiPyC(チリ港湾・沿岸工学会, 数人のPIANC会員も所属), ウルグアイのYP会員が南米ウェビナーを開催, 各国1人ずつ発表を行いました。本イベントには100人以上が参加, 次回の地域イベントの開催を決めました。参加できなかった方はこちらからご覧いただけます(スペイン語)。

<https://www.youtube.com/watch?v=-IUzKNG7mmc>

パブロ・アレッコ **Pablo Arecco**

PIANCアルゼンチン

気候変動に関する常設タスクグループ(PTG CC)からのニュース

PIANCの気候変動適応策に係る発刊物に関するニュース普及活動

5月の終わりから6月にかけて、PIANCの気候変動適応策の出版物を紹介するのに多忙でした。5月の後半、ジャン・ブルック氏^{Jan Brooke}(PTGCC議長)、アレハンドラ・ゴメス・パス氏^{Alejandra Gomez Paz}(WG 259” 港湾における気候変動策ガイドライン” のアルゼンチン委員)がブラジルで開催された南米地域ワークショップ「交通インフラのレジリエンスの強化」に出席しました。本ワークショップは、CDRI(Coalition for Disaster Resilient Infrastructure)、ANTT、ブラジル交通省の共催で、イベント詳細は、本号ニュースレターの「PIANCアルゼンチンからのニュース」でどうぞ。

6月のはじめ、ジャン・ブルック氏はフランス・ニースにて欧州投資銀行が主催した沿岸域の強靱化へのファイナンスに関する「アダプション デイズ」において、PIANC PTGCCのテクニカルノートNo.2の「ビジネスケースの構築」に関する[Technical Note No.2 on Making the Business Case](#)を紹介しました。ジャン・ブルック氏は以下の点を強調しました：



- ・事業への投資評価のための不作為(何もしない)の結果の特定と定量化（潜在的な保険・補償ありの場合の損失と保険・補償なしの損失を考慮）
- ・このような投資によって得られる「三重の配当」を理解する。
 1. 損害と中断の回避
 2. 既存の投資と運営継続を守る
 3. 他の社会的・環境的な利益の活用

「損害と中断の回避」を投資の効果と捉えるのは、商業港湾や水路分野ではなかなか難しく、一般的には投資により生じる(直接的な)利益に視点が向きがち。そのため、これらの認識を喚起する必要があります。

ジャン・ブルック氏はまた、気候変動の不確実性において、一層の適応性の高い解決策を検討し、推進する必要がある点を強調しました：

- ・条件の変化によって修正変更可能なインフラや運営方策の開発
- ・適切な箇所に犠牲的(損壊等を見込み可能)な、移動可能な、暫定的な要素を組み込む
- ・重要不可欠なインフラの機能を継続可能とするリダンダンシーを盛り込む
- ・予防保全や早期警報及び関連するモニタリングなどを優先実施

今回のイベントの他の発表者からも、適切な情報に基づく適応策に1USDを投資するならば、費用対効果比率からは、2USDから12米USDの計測可能な便益をもたらすという明確な根拠が確認されました。

また、「設計(段階)から強靱性を組み込む」ための柔軟で順応的な資金調達必要性への認識が高まっています。欧州投資銀行(EIB)をはじめ、多くの資金調達機関では、気候変動にレジリエントな解決策への投資に意欲を示しています。極端な気象現象が一層頻発化する中、港湾・水路の運営者は、こうした機会を模索する価値があるかもしれません。

交通システム -強靱化レベル- 2025 年 9 月 12 日



国際イベントの最後の話題として、PIANC 会員で北米に拠点のある方と、PIANC スマートリバーズ会議 (PIANC-Smart Rivers Conference) の参加者は、2025 年 9 月 12 日メンフィス大学のフェデックスビルディングで開催される全日イベントの「クロスモーダル輸送のレジリエンス」の参加に関心を持たれるでしょう。本シンポジウムは PIANC, PIARC(道路), UIC(鉄道), EuroControl(空港)により主催され、相互に関係する性質の輸送ネットワークについて検討し、なぜレジリエンスにおいて協調行動をとることがとりわけ輸送、物流業界において重要なのかに重点を置いています。イベントのお知らせは間もなく発行します。差し当たり詳細はこちらをご覧ください。

ptgcc@pianc.org

PTG CC は南アフリカ代表のロイ・ファン・バレゴイエン氏(Roy van Ballegooyen)を新委員に迎えました

PTG CC は、南アフリカ代表のロイ・ファン・バレゴイエン氏([Roy van Ballegooyen](#))を新メンバーに迎えました。同氏の自己紹介は以下のとおりです。

南アフリカ代表として PTG CC に参加するのを楽しみにしています。私の最初のキャリアは、物理的海洋学と気候変動調査からスタートしました。続いて関心があった沿岸プロセスモデルに結びつく流体力学の数値モデリング、沿岸と河口域の水質を中心として、意志決定の支援、環境リスク評価、海洋ガバナンスも含んだ応用化学と環境コンサルティングに従事しています。現在の関心は、1) ネイチャー・ポジティブ・エンジニアリング/自然アプローチによる自然との共生 2) 特に港湾環境に焦点を当てた気候変動リスク評価と適応政策です。具体的な関心は、現実世界の複雑な港湾開発プロジェクトにおいて、こうしたアプローチを実践的に適用することであり、特に独自の課題と機会を抱えるアフリカ地域の適用です。

ジャン・ブルック [Jan Brooke](#)
PTGCC 議長

PIANC コミュニティからのニュース

PIANC 各国部会からのニュース

各国部会から過去と今後のイベント・実績のお知らせ



PIANC アルゼンチン部会

CDRI南米地域ワークショップ
「交通インフラのレジリエンスの強化」

[PIANC Argentina at the CDRI Latin America Regional Workshop on 'Building Resilience of Transportation Infrastructure'](#)



PIANC ドイツ部会

4月28日バーチャル会議と
次回会議のお知らせ

[Virtual Meeting on 28 April and Next Meetings](#)



PIANC 日本部会

東京でPIANC日本部会の第52回年次総会,第56回理事会,活動報告会を開催

[PIANC Japan' s 52nd PIANC Japan' s 52nd General Assembly and 56th Board Meeting in Tokyo](#)

[PIANC Japan' s Reporting Session in Tokyo](#)



PIANC 英国部会

ウィリアム・ハリス年次講演
「戦時下の土木工学-マルベリー
仮設港プロジェクト-」

[PIANC UK Sir William Harris Lecture – Civil Engineering at War – Project Mulberry](#)

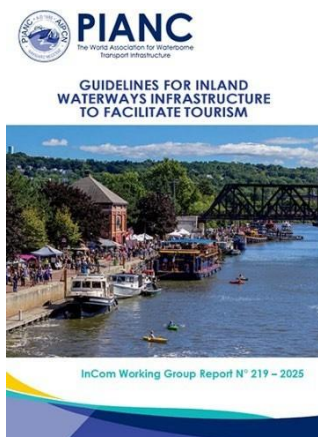
出版物

最新の発行

PIANC 内陸水路委員会(InCom)は多忙！

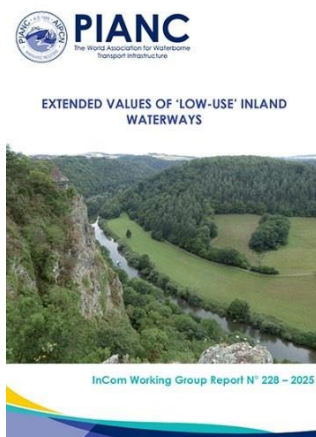
以下の出版物が 2025 年 6 月に出版されました：

PIANC InCom WG 219



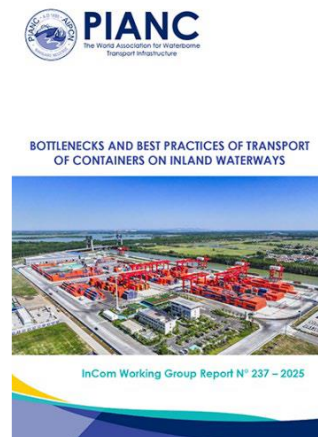
PIANC WG 219 (InCom):
「観光促進のための内陸水路インフラのガイドライン」
'Guidelines for Inland Waterways Infrastructure to Facilitate Tourism'

PIANC InCom WG 228



PIANC WG 228 (InCom):
「利用頻度の少ない内陸水路の価値の拡大」
'Extended Values of 'Low-Use' Inland Waterways'

PIANC InCom WG 228



PIANC WG 237(InCom):
「内陸水路におけるコンテナ輸送のボトルネックとベストプラクティス」
'Bottlenecks & Best Practices of Transport of Containers on Inland Waterways'

オンラインショップ
[GO TO WEBSHOP](#)

PIANC会員無料 ダウンロード
[FREE DOWNLOAD PIANC MEMBER](#)

オンラインショップ
[GO TO WEBSHOP](#)

PIANC会員無料 ダウンロード
[FREE DOWNLOAD PIANC MEMBER](#)

オンラインショップ
[GO TO WEBSHOP](#)

PIANC会員無料 ダウンロード
[FREE DOWNLOAD PIANC MEMBER](#)

近日発刊！

以下の出版物が 2025 年 7/8 月に出版されます。

- PIANC WG 213(MarCom): 海上多目的ターミナルの設計ガイドライン(Design Guidelines for Marine Multipurpose Terminals)
- PIANC WG 206(InCom): 水路閘門の設計(Design of Navigation Locks)

[ここをクリックして、最新の出版物をご覧ください！](#)

PIANC 会員になって節約しましょう。
PIANC の出版物がすべて無料でダウンロード出来ます！

WG メンバーの新規募集

PIANC InCom (内陸水路委員会) では、以下の WG メンバーを募集中です



PIANC WG266「既設の内陸水路施設の容量増加と構造的な拡張」のメンバー募集締め切りが 2025 年 8 月 30 日に延期されました。

ご関心のある方は、申し込みを各国部会に提出してください。各国部会がない場合はこちら info@pianc.org

プラチナ会員からのニュース

シバタフェンダーチーム(SFT: SHIBATAFENDERTEAM)からのニュース

PIANC 会長，SFT の新たな施設のオープニング・セレモニーに出席
スペイン・ソラーナ訪問

6 月 10 日は、PIANC 会長のフランシスコ・エステバン・レフラー氏をスペイン・ソラーナにある新工場施設の開業式にお迎えし、会社にとって特別な行事となりました。

スペイン・オフィスのチームメンバーの他、本イベントには、日本、ドイツ、他のヨーロッパ諸国の拠点の代表、SFT チームの株主の皆さまにもご参



加いただきました。フェリペ・ハビエル・カラスコ・トーレス氏([Felipe Javier Carrasco Torres](#))地域産業・貿易・消費者政策担当局長，ソラーナ市長のビセンテ・ホセ・コドネル・セノン氏([Vicente José Codoñer Senón](#))を含む地方当局にもご臨席いただきました。

新施設は、海洋フェンダーシステム用の気泡フェンダーと鋼製部品の製造に特化しており、グループの製造能力とサービスネットワークを一層強化します。

シバタフェンダーチーム(SFT)は、エステバン・レフラー氏をはじめとする著名な皆さまにご出席いただき、開業式典が新たなスタートの記念すべき日となりましたことに、心よりお礼申し上げます。

エンパル・ドルズ・ゴンザレス([Empar Dolz González](#))
Senior Marketing Manager SFT Spain

IRM (Industrial Rubber Molders) Offshore and Marine Engineers PVT. LTD からのニュース

PIANC WG211(PIANC 防舷材ガイドライン)参照による「Ports'25(米国)」での技術講演

接岸・係船設備業界をリードする製造業者として、IRM 社では、PIANC WG211 の新ガイドラインに見合うように、着実に製品の設計、製造、設置に対応していきます。我々は、単に製品の性能期待値に沿うだけでなく、最新の国際推奨事項に確実に足並みをそろえることを目指しています。



サガル・ソニ氏([Sagar Soni](#))-事業部門責任者-は、先日の「PORTS' 25」において、PIANC WG 211「防舷材ガイドライン」で示された重要な実践事項を参照しながら、船舶用防舷材と係船柱の検査および設置に関する技術講演を行いました。このセッションでは、現場の目視観察、設置時の課題、WG 211 ガイドラインへの準拠を確保するための重要な要因についての説明がありました。また、メーカーが材料のトレーサビリティから文書化、設置手順など、彼らの製造等のプロセスをガイドラインの推奨事項に合わせるための具体的な方法についても解説されました。

本セッションでは、こうしたガイドラインの実践に向けたアプローチと、業界のベストプラクティスに常に適応するための IRM 社の継続的な努力についても強調されました。

IRM 社においては、プロジェクト全体で一貫性を持ち、基準に基づく製品実装を支えるため、これらのガイドラインを内部プロセスに組み込んでいる最中です。業界が徐々に WG 211 ガイドラインへの準拠に向けて移行する中、今回のような議論や知見の共有は、共通の理解の構築、現場での実施を改善するために重要な役割を果たします。

アンシュル・ミシュラ [Anshul Mishra](#)
Deputy Manager - Business Development IRM Offshore and Marine Engineers

訃報

オットー・シュヴェッツ氏(Otto Schwetz) (1945-2025)



去る6月16日にオットー・シュヴェッツ氏がご逝去されましたことを鎮痛の思いでお知らせいたします。シュヴェッツ氏はPIANC オーストリア部会の会長であり、PIANCの内陸水路委員会(InCom)においても、常にフレンドリーで、長年にわたり献身的に貢献してられました。

シュヴェッツ氏は、長年並外れた情熱を注いで内陸水路委員会に取り組んでられました。1998年より、団体[PRO Danube AUSTRIA]の理事会メンバーとしても積極的に活動され、2005年からは副会長として、確固たる信念、専門知識、情熱をもってその役割を果たされました。

同氏の内陸水路の振興と将来の発展への貢献は、この業界の多くの人々にとって画期的で、鼓舞されるものでした。

シュヴェッツ氏は、ドナウ・中央ヨーロッパ地域研究所(IDM: Institut für den Donaauraum un Mitteleuropa)の執行役員メンバーとして25年以上にわたり関与し、ウィーン市議会のメンバーとしても際立った貢献をしました。ドナウ地域と欧州の交通政策への献身的な取り組みにより、中欧・東欧の変革に重要な貢献をされました。

PIANC は、シュヴェッツ氏のご家族ご親族に対し、心からの哀悼の意を表します。

以下は PIANC のプラチナパートナーです。



ソーシャルメディアでPIANCをフォローしてください！



PIANC @ <https://www.pianc.org/> にアクセス

<https://www.pianc.org/join-pianc/> で PIANC 会員になる